

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月26日

【評価実施概要】

事業所番号	272400789
法人名	有限会社さくら
事業所名	グループホームさくら
所在地 (電話番号)	〒037-0305 青森県北津軽郡中泊町中里字亀山777-164 (電話) 0173-69-1088

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 2月 3日	評価確定日	平成 21年 3月 26日

【情報提供票より】(平成 20年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 12月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	9人, 非常勤 0人, 常勤換算 9.0人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	9,000 円	その他の経費(月額)	3,000~4,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 900 円			

(4) 利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	0 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	71 歳	最高	88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	洋苑会 井沼洋クリニック、公立金木病院、毛内歯科医院
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>中泊駅に近く、小学校を望む高台にホームはある。周辺には桜の木があり、春には花が咲き、利用者は散歩しながら花を鑑賞するなど、季節感のある静かな環境となっている。また、地域の人たちの散歩コースの途中にあり、ホームに立ち寄り、交流の機会になっている。ホーム内は広く、木の素材を活かした作りになっている、ホール中央から利用者の居室が見渡すことができるので、緊急時にすぐに対応が出来る。入浴は個浴で、下肢障害の人も入浴できるよう職員は講習などを受け、入浴援助を行っている。また、老人クラブなどの訪問や定期的外出など、利用者の楽しみを見出せるよう援助している。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者の交代で十分に話し合う機会も少なく具体的な改善に取り組むまでは至っていないが、今後、職員1人1人が評価に対して意識を持ち取り組む姿勢が感じられる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価に対しては職員1人ひとり記入はされているが、それぞれの意見交換には至っていないので、今後、それぞれに意見を出し合って事業改善に努め、資質向上、よりよいサービスが提供出来るよう取り組む姿勢が感じられる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>定期的に併設の通所介護を開放し開催され、市町村関係者、包括支援センター、地域住民、家族などの参加もあり意見交換し、出された意見は職員で話し合い運営に反映させるようにしている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>様々な場面(契約についての説明、介護計画サービス表の説明、面会時、電話連絡)において家族の意見、要望など確認し、意見を吸い上げている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域住民の散歩道でもあるので自然に近隣の人達からの差し入れなどあり気軽に立ち寄れる環境となっている。その他に地域の老人クラブの訪問を受けたり、小学校の運動会を観戦しに出かけたりして、地域との交流を図っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	既存の「第二の我が家を目指して」という理念が掲げられているが、「家庭的な環境と地域住民の交流の下で」という理念にはなっていない。現段階で職員が案を出し合って検討中である。		管理者、職員で考案中であるが地域に根ざしたホーム独自の理念を早急に掲げる事に期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をグループホーム玄関、職員室の見える場所に掲げている。見える場所にあるため常に意識して日々の業務を行っている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	小学校の通学路や近所の人達の散歩コースにあたり、地域の方が立ち寄りやすい環境にある。併設デイサービスの休みを利用して地域の方が和讃の練習に集まるなど、様々な方が訪問され、事業所の取り組みを理解してくれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員が出来る部分の記入を求め、管理者が自己評価を作成しているが話し合いがもたれていない。又外部評価の結果を周知し、職員が理解するまでに至っていない。</p>		<p>サービス評価の意義や目的を全職員が理解し、前回の外部評価の結果を踏まえ、改善計画を作成しサービスの質の向上に取り組まれる事に期待したい。</p>
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者、ご家族、地域の方の参加により2ヶ月に1回開催されている。同意を得た利用者の暮らしぶりのビデオを見て、勉強会を開催したり、日々の取り組み、外部評価の結果報告を行ったりしている。参加者からは質問、意見の吸い上げをし、会議録に記載している。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町の担当窓口に出向いたり、地域包括支援センター、役場職員の訪問が時々あり、グループホームの方向性や行政の体制等について話し合いが出来る関係にある。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者は地域ケア会議等に参加し学ぶ機会はあるが、全職員が権利擁護事業について理解を深める機会を設けていないため全職員に浸透していない。</p>		<p>外部研修への参加や勉強会の開催など、職員の知識向上に向け取り組み、必要時に支援できる体制を整える事を期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止関連マニュアルが整備され、各ケースについては話し合いの機会を持っているが内部研修等で高齢者虐待関連法を学ぶまでは至っていない。</p>		<p>内部研修等でマニュアルを活用した勉強会やミーティング等を実施し虐待行為を発見した場合の対応方法などについて職員に周知される事を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用時は運営規定、重要事項説明書、契約書について十分な説明を行い理解、納得を得てから契約を行っている。その際認知症以外の重度化した時の対応についての説明も併せて行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回必ず面会がある為、金銭出納簿、領収書の確認と生活状況説明を行っている。又個人毎の新聞を1～2ヶ月に1回発行し、生活状況を請求書と一緒に送付している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族面会時、情報提供を呼びかけている。又意見箱に投書しにくい事を考え、面会簿に記入欄を設け、意見の吸い上げに努め、要望のある時はいつでも対応できるよう配慮している。また、重要事項説明書にホーム以外の苦情窓口についても明示している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>併設のサービスからの異動が多く、普段からサービス職員が配膳の手伝いを行うなどして交流し、馴染みの関係作りをして、異動の際のダメージを少なくするよう配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修時はより多くの職員が平均して参加できるように勤務体制の調整を行っている。全職員が共有できるように参加職員は報告書に資料を付けて回覧し、確認、押印している。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1～2回は地域の7カ所のグループホームが参加しケア会議が開催され、救急救命を合同で研修したり、不定期ではあるが他市グループホームとの交流が行われたりしているが、事業者同士連携をとれるまでには至っていない。		グループホーム協会に加盟されている為可能な限り参加し他事業所と交換研修を行ったり、訪問し合ったりして学習会や交流を持ち、質の向上に努める事を期待したい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族と一緒に見学、ディサービスの体験等を通じて職員と関係づくりをし話し合いを勧めている。家の写真、馴染みのものを持参するなど徐々に馴染めるように家族と相談し、入居出来るように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が笑って生活が出来るように、また職員は楽しく仕事が出来るように共に支え合う関係を築いている。驚くほど一生懸命に利用者が畑作りを行う姿に職員は学ぶことが多い。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式を取り入れ、本人本位の暮らし方の希望、意向の把握に努めている。</p>		<p>言葉での表現が困難な場合は本人の意向、思いをくみ取り、プランに盛り込むことを希望します。</p>
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>地域の中でその人らしく暮らし続ける為に、スタッフは日ごろの関わりの中より本人、ご家族の意向をくみ取り、利用者主体の介護計画書を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しの他、状況によって随時見直しが行われている。又状況に変化が現れた場合は本人、ご家族の要望に応じて見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人、ご家族の状況に応じて通院の支援、家族宿泊の支援を行い個々の満足度を高める努力をしている。併設の通所サービス利用者も顔なじみで行き来があり交流を深めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院は定期受診が出来る体制にある。主治医の決定にはご家族の希望を取り入れ、これまでのかかりつけ医への受診も多く、看護師の受診付き添いで医療連携が行われている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時、重度化したときの対応についてご家族と話し合っている。終末期に関するマニュアル、看取りの指針が整備され、かかりつけ医が往診してくれる体制にある。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の関わりの中で本人を傷つける言葉遣いに配慮しているが、きつい言動に気がついた時はその都度話し合いをし、職員の意識の向上に努めている。又書類の保管は事務室の中で管理されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、買い物、散歩等一人ひとりの状態に合わせ可能な限り希望に沿うことが出来るように配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>個人の能力にあわせ、刻む、片付ける、食材を焔に取りに行く等分担し共同で食事づくりが行われている。食前には口腔体操を取り入れ、また職員、利用者が一緒に食事する事で会話も弾み楽しく食事している。さりげなく食事のサポートもされている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>利用者の体調、希望に合わせ、個浴で一人ひとりに合った入浴支援を行っているが、状況に応じて併設サービスを利用し、利用者同士楽しみながらの入浴支援も行っている。</p>		
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>利用者は花づくり、畑づくりで一生懸命力を発揮し、職員と一緒に作業を行っている。また家に帰ったり、地域の行事に参加したりするなどの楽しみごと支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>本人の体調や気分に合わせて、買い物や夏場の散歩、外出時本人の好きな食事をするなどしている。サービス職員との協力もあり、いつでも外出できる体制にある。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
T					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	管理者は禁止の対象となる具体的な行為を理解しておりマニュアルを作成し周知に努めている。研修会参加後、資料を回覧をしているが勉強会をするまでには至っていない。		勉強会を開催し、全職員が禁止の対象となる具体的な行為を理解できるように努め、職員の資質の向上のため取組まれることに期待したい。
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間は施錠しているが、併設サービス職員の協力もあり日中は玄関の鍵はかけず自由な暮らしを支援している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災計画を作成し、年2回防災訓練を行っている。併設サービスと一緒に夜間を想定した訓練も行われ、消防署、地域住民からも協力が得られる体制が出来ている。又非常用食料の備蓄が出来る協力関係が出来ているスーパーが近所にあり、いつでも対応出来る。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取状況の個別記録が作成され、サービス調理員との協力で利用者一人ひとりが必要な食事、水分摂取が出来るように支援されている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種を行い、感染症予防に関する各マニュアルも作成されているが職員対象の勉強会等が開催されていない。		勉強会を開催し感染症に対する予防と早期発見、早期対応に関し職員に周知することを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅から持ち込まれた椅子を共有スペースで利用したり、目の前で食事作り、おやつ作りがされ家庭的な匂いを感じ取る事が出来る。ホーム内は広々としソファ、畳、椅子等の利用で好みの空間で自由に過ごせるように工夫されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた馴染みの物の持ち込みは自由であり、家族の写真、位牌等が持ち込まれている。それぞれの好みの居室作りがなされ、その人らしく過ごす事が出来るよう工夫している。</p>		

 は、重点項目。